

体育（スポーツⅠ）

履修単位	5単位	学 年	2年
学科コース	商業科 ・ スポーツ	区 分	必修 ・ 選択
使用教科書	必要に応じて資料を配付		
副教材等			

1. 科目を通じた学習内容と学習目標

地域、学校の特徴である自転車競技（測定競技）の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

- ① 自転車競技は落車等で命を落とす可能性のあるスポーツです。実技の授業では、装備品の点検、交通ルールの遵守など常に安全に留意した行動を心掛けましょう。
- ② 資料綴りファイル及び競技規則集は毎授業準備してください。

3. 科目を通じた評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
評 価 方 法	定期考査 実技テスト レポート	自己評価表 レポート 授業への参加状況	授業への参加状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（単元）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 年間を通じた学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標 (ねらい)	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
1	トレーニング方法論・実習 競技と安全 競技規則の理解	<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を見つけ、その解決を目指したトレーニングを計画的に実践することができる。 競技と安全を結び付けて考え、理解することができる。 競技規則を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツIを多様に実践するための事項を理解したことを言ったり書き出したりしている。 危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、危険回避や応急手当ができる。 	○			
			<ul style="list-style-type: none"> スポーツIを行う際の参加者に応じた効果的な体力の高め方を計画したり、自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてのよりよい改善点を指摘している。 		○		
			<ul style="list-style-type: none"> 公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもとうとしている。 			○	
2	トレーニング方法論・実習 アンチドーピング	<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を見つけ、その解決を目指したトレーニングを計画的に実践することができる。 アンチドーピング、フェアプレイの精神について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツIを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解したことを言ったり書き出したりしている。 	○			
			<ul style="list-style-type: none"> スポーツの推進及び発展に向けた視点から自他の「する、みる、支える、知る」などの多様な将来の関わり方について、自他の考えたことを踏まえ、理由を添えて説明している。 		○		
			<ul style="list-style-type: none"> 公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもとうとしている。 			○	
3	トレーニング方法論・実習 トレーニング計画論	<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を見つけ、その解決を目指したトレーニングを計画的に実践することができる。 客観的な競技能力指標及び自身の戦術を考慮したトレーニングを計画することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツIを多様に実践するための事項を理解したことを言ったり書き出したりしている。 他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できることについて、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、身体及び言葉などで表現できる。 	○			
			<ul style="list-style-type: none"> 発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場で判断し仲間に伝えるている。 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともにスポーツIを楽しむための調整の仕方を見付けている。 		○		
			<ul style="list-style-type: none"> 公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもとうとしている。 			○	